

市民のひろば

香・美・人② 大栃高校家庭クラブ

本誌折り込みの、市民カレンダーに連載中の「ゆず香るお菓子レシピ」を作成してくれている大栃高校家庭クラブを紹介します。代表で2年生の、山崎和成君と中原陸君に話を聞きました。

◇ ◇ ◇
レシピを作るきっかけは？

平成22年3月に閉校が決まり、今までお世話になった地域に、何か貢献できないかと考えました。物部は「ゆず」ということで研究を始め、「栃っ子のゆずプロジェクト」と名付けました。その活動の一環で、ゆずのお菓子レシピを作っています。

最近のお薦めは何ですか？

家庭クラブをPRしようと、マスコットキャラクター「トッピー」を作りました。名前は「トッピー」。そのトッピーの焼印入りの「ゆずどら」が自信作です。昨年

の学園祭で、大好評でした。



失敗作はありますか？

青ゆずを使ったお菓子を作ったとき、熱を加えすぎると茶色になり、にが味が強く出過ぎて失敗しました。レアチーズケーキと大福もちちは、白地に青い粒がまだらに入り、カビのように見えるため、黄ゆずに変えました。

今年は何をしたいと思いますか？

今まで作成してきたレシピを地域に引き継いでもらいたいので、レシピのお菓子を保育園や給食センターで、実際に出してもらえるように働きかけたいです。香美市だけでなく、高知県内、もっと広く日本中に広めたい、そんな思いです。

大栃高校家庭クラブの「ゆず香るお菓子レシピ集」は改訂を重ね、第3版が発行されました。大栃高校のホームページに、カラー写真で紹介されていますので、ぜひご覧ください。大栃高校は閉校まであと1年、生徒数も17人になります。悔いの残らない1年になるように、頑張ってください。(秋山)



ゆずどら

ただいま留学中②

チエン 謙
銭 謙
(中国・雲南省昆明)

香美市の皆さん、こんにちは。僕は昨年10月高知工科大学博士課程に入学しました。専門は情報工学です。学校と香美市の皆さんが親切にしてくれるおかげで、もう生活に慣れました。ありがとうございます。



うございませう。留学の期間はあと2年半くらいあることを考えると、香美市は僕の第二の故郷と言っても過言ではありません。

僕が日本語を勉強し始めたのは4年前です。日本語のゲームやアニメをもっと楽しめたらという気持ちで、きっかけでした。今考えると、早めに日本語を勉強し始めて良かったです。しかし、周りには日本語を話す

人がいなかった上、全部独学だったので大変疲れました。困難がある一方で、分からない言葉、読めない文字がだんだん理解できるようになって、知識を得る満足感が満ちてきました。その気持ちが勉強し続ける意欲になり、僕を支えて今まで頑張り続けることができました。もともとは遊びのため学び始めたのに、だんだん興味が高知に移りました。文化の類似性もあり、日本語は僕を引き付けました。勉強を続けるに当たって、日本語の優美さ、美しさを

ますます感じられるようになりまし。今後も、もっと日本語を勉強して、日本の文化、風土や歴史の知識を学びたいです。これからも香美市の皆さんからいろいろ教えていただき、皆さんと一緒に学生生活、そして人生を楽しみたいです。